

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大 福

(氏名) 大野 繁樹
 (氏名) 小倉 賢一

TEL 092-962-9200

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,800	62.7	382	△0.4	377	△3.0	141	△27.0
24年3月期第3四半期	5,407	—	384	—	389	—	194	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 144百万円 (△24.0%) 24年3月期第3四半期 190百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	95.32	—
24年3月期第3四半期	130.66	—

(注) 平成24年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,324	2,201	26.4
24年3月期	8,156	2,130	26.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,201百万円 24年3月期 2,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,679	40.5	577	0.5	572	△1.0	213	△29.3	143.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期から減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	1,485,900 株	24年3月期	1,485,900 株
25年3月期3Q	294 株	24年3月期	294 株
25年3月期3Q	1,485,606 株	24年3月期3Q	1,485,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や各種政策を背景に緩やかな回復基調となりましたが、長期化する欧州債務問題などによる世界経済の減速や日中関係悪化などの懸念材料が多く、先行きは不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループが主に属する調剤薬局・医薬品業界におきましては、平成24年4月に薬価の引下げ（平均6.0%）及び調剤報酬の引上げ（0.5%）が実施され、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社グループは、調剤薬局事業ではレセプトコンピューターの新機種導入が完了し、メディカルサポート事業では医薬品卸及び給食に係る販売管理システムの入替えなどを順次実施しております。また、平成24年9月に本社ビルが完成し、同年10月に当社及び連結子会社の事務所を移転して本社機能を集約することにより、さらなる業務の効率化によるコスト削減を図り、収益性の向上に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,800百万円（前年同期比62.7%増）、営業利益は382百万円（同0.4%減）、経常利益は377百万円（同3.0%減）、四半期純利益は141百万円（同27.0%減）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間において、株式会社メディックスジャパンホールディングス（現株式会社さくらフーズ）の全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ケイエムを連結の範囲に含めておりますが、みなし取得日を前第3四半期連結会計期間末としているため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書には当該連結子会社の業績は含まれておりません。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①調剤薬局事業

当第3四半期連結累計期間において1店舗を新規開局したことや既存店舗においても処方箋枚数が堅調に推移したことから、売上高は5,257百万円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント利益は685百万円（同14.8%増）となりました。

②メディカルサポート事業

前第3四半期連結会計期間末をみなし取得日として、株式会社さくらフーズ及びその子会社である株式会社ケイエムを連結の範囲に含めております。これにより、前第3四半期連結累計期間には当該連結子会社の四半期損益計算書は連結されておらず、売上高は3,542百万円（前年同期比1,064.8%増）と著しく増加しており、セグメント利益は14百万円（同76.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,614百万円となり、前連結会計年度末残高4,588百万円に対し25百万円増加しました。これは主として、医薬品の薬価引下げに備えた前連結会計年度末の在庫圧縮の反動でたな卸資産が101百万円増加した一方で、売上債権の回収により売掛金が27百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,710百万円となり、前連結会計年度末残高3,567百万円に対し142百万円増加しました。これは主として、本社ビルや新規開局店舗の建物等を取付したことにより建物及び構築物が218百万円、投資不動産が75百万円増加した一方で、のれんの償却によりのがれんが198百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,292百万円となり、前連結会計年度末残高3,488百万円に対し195百万円減少しました。これは主として、短期借入金が199百万円、未払法人税等が132百万円減少した一方で、(流動資産)のたな卸資産の増加要因と同様の理由で、医薬品の購入量が増加したことに伴い買掛金が213百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,830百万円となり、前連結会計年度末残高2,536百万円に対し293百万円増加しました。これは主として、新規借入等により長期借入金が300百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,201百万円となり、前連結会計年度末残高2,130百万円に対し70百万円増加しました。これは主として、四半期純利益の計上額と配当金の支払額との差額により利益剰余金が67百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月7日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134	2,122
売掛金	2,143	2,115
たな卸資産	164	266
その他	147	111
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,588	4,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	715	933
土地	998	998
その他(純額)	113	173
有形固定資産合計	1,827	2,105
無形固定資産		
のれん	1,019	821
その他	40	39
無形固定資産合計	1,060	860
投資その他の資産		
投資有価証券	123	105
投資不動産(純額)	277	353
その他	279	287
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	679	744
固定資産合計	3,567	3,710
資産合計	8,156	8,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,058	2,271
短期借入金	845	646
未払法人税等	205	73
賞与引当金	107	52
その他の引当金	7	5
その他	263	242
流動負債合計	3,488	3,292
固定負債		
長期借入金	2,339	2,639
退職給付引当金	91	92
役員退職慰労引当金	74	79
その他	30	19
固定負債合計	2,536	2,830
負債合計	6,025	6,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	281	281
資本剰余金	184	184
利益剰余金	1,653	1,721
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,119	2,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	14
その他の包括利益累計額合計	11	14
純資産合計	2,130	2,201
負債純資産合計	8,156	8,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	5,407	8,800
売上原価	4,635	7,686
売上総利益	772	1,113
販売費及び一般管理費	388	731
営業利益	384	382
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
受取賃貸料	10	12
その他	4	7
営業外収益合計	16	21
営業外費用		
支払利息	6	14
投資不動産管理費用	4	7
その他	0	5
営業外費用合計	11	26
経常利益	389	377
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	—	10
満期保険返戻金	—	8
特別利益合計	5	20
特別損失		
固定資産除売却損	2	—
減損損失	—	13
その他	1	4
特別損失合計	3	18
税金等調整前四半期純利益	390	380
法人税、住民税及び事業税	171	215
法人税等調整額	25	23
法人税等合計	196	238
少数株主損益調整前四半期純利益	194	141
四半期純利益	194	141

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194	141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	3
その他の包括利益合計	△3	3
四半期包括利益	190	144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	144

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,103	304	5,407	—	5,407
セグメント利益	597	59	656	△272	384

(注)1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカルサポート事業」セグメントにおいて、平成23年12月1日付で株式会社メディックスジャパンホールディングス(現株式会社さくらフーズ)の全株式を取得し連結子会社としたことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,006百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,257	3,542	8,800	—	8,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12	12	△12	—
計	5,257	3,555	8,813	△12	8,800
セグメント利益	685	14	699	△316	382

(注)1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。